

コミュニケーション中原 Communication Nakahara

中原自治会館：横浜市磯子区中原3-6-24

中原自治会 QR コード

◇Tel・Fax：(771) 9401

◇ホームページアドレス：<http://www.nakahara-jitikai.yokohama/>

コミュニケーション中原制作：中原自治会広報部



明けまして
おめでとう
ございます



昨年は新型コロナウイルス感染症が5類に分類され、中原自治会の活動もコロナ前に戻りました。春の日帰り旅行、夏の夏祭り、秋の防災訓練、冬の餅つき大会が開催出来ました。日帰り旅行はまだコロナの影響を受けたようで参加者が少なかった。防災訓練は3団体の合同訓練に戻しましたが、残念ながら雨に降られ室内での訓練となりました。しかし、夏祭り、餅つき大会は非常にたくさんの方の参加をいただき盛大な催しとなりました。

今年は、新年から中原寄席、焼き芋大会、支えあい食事会などの行事を行っていきます。また、今年の総会で承認をいただきました「菜園」の活動もいよいよスタートさせる予定です。

ただ課題も多くあります。その一つが役員の高齢化と担い手不足です。若い方に声を掛けていますが、仕事があるので出来ませんと言われます。定年が延長され、共働きの家庭も多く、なかなか難しいとは思いますが、出来る範囲の中でお手伝いをお願いします。今後、辞める役員が多くなりますのでよろしくお願いします。

もう一つが、自治会に加入する方の減少です。昔は自治会に加入するのは当たり前のことでしたが、今は世帯の高齢化、ワンルームマンションの増加などで加入率が減少しています。自治会活動は情報の共有と地域の方のつながりの形成です。SNSの普及により情報は自治会に頼らず簡単に手に入れることができるようになりました。また、人とのつながりは煩わしいと考える人が多くなりました。しかし、大震災が起きる可能性が高まっています。多くの方が公助に期待されていると思いますが、残念ながらその時公助には期待できません。119番、110番に電話をしても助けには来てくれません。助けに来てくれるのはご近所です。水や食料が公によって配られるのは数日後です。その間をどう過ごすのか。まずは自助ですが、貯えがなくなった時の助けになるのがご近所です。日頃のお付き合いを大切にしましょう。

課題が多くありますが、今年も頑張っていきますのでよろしくお願いします。

12月は磯子区連合町内会長会定例愛はありませんので今月の定例会報告はありません。

I. 中原自治会よりの連絡・報告

1. 中原自治会費集金日

財務部より

1・2月の集金日は次の通りです。

- (1) 1月21日（日）10:00～12:00
- (2) 2月18日（日）10:00～12:00



2. 中原寄席

文化部より

第4回中原寄席を令和6年1月14日（日）午後1時より中原自治会館で開催します。参加方法は①1月7日（日）午前9時から10時まで中原自治会館にて直接申し込む方法。②午前10時から午前11時まで電話771-9401（中原自治会館）へ電話で申し込む方法。です。

出演者は三遊亭鯛好、横浜・ヨコハマ他です。



3. 焼き芋大会のお知らせ

青少年部より

子ども会では令和6年1月28日（日）10時より中原公園で焼きも大会を行います。

会員のみなさんにも焼き芋を配布しますのでご来場ください。ただし、数に限りがございますので、その場合はご容赦ください。



4. 日赤募金・赤い羽根募金・年末たすけあい募金の追加報告

福祉厚生部より

コミュニケーション中原12月号で標記募金の報告を致しましたが、その後追加の募金の提出がありましたので報告いたします。なお、この募金は歳末たすけあい募金に送金いたしました。

追加の募金額 26,700円



5. 防犯パトロールについて

交通部より

今年度7回目の防犯パトロールを12月22日（金）に行ないました。

今回は2丁目の中原中道周辺をパトロールしました。途中に「耕地稲荷」があります。この中道を歩くといくつかの稲荷があります。そのほとんどが個人所有のお稲荷さんですが、耕地稲荷は地域のお稲荷さんです。この稲荷にまつわる話や、現在も続く稲荷講などの話で盛り上がりました。

6. 餅つき大会報告

青少年部より

12月10日（日）、中原自治会館で餅つき大会を行いました。

4年ぶりの餅つきですので、杵や臼がどうなっているか心配していましたが、多少のひび割れがありましたが大丈夫でした。朝早くから消防団の協力も得ながら準備をし、お餅

をつきました。ついた餅は子ども会と青少年部のみなさんと小さくし、パックに詰めました。これまでは餡やきな粉をつけてパックに詰めましたが、今回は餡やきな粉は別の袋に入れて、食べる時につけてもらいようにしました。

子ども会は餅をつけるまでの間、クリスマス会を行い、ビンゴ大会で盛り上がりました。さらに子ども達も餅つきを行い、貴重な体験を楽しんでいました。

また、消防団にみなさんにより、ガチャガチャの楽しみを行っていただきました。感想文を書いていただきましたので紹介します。

餅つきはきねが重くて大変だった。でもおもしろかった。おもちはお醤油とのりで食べて美味しかった。ビンゴ当たって嬉しかったので楽しかったです。

杉田小学校1年 矢代 悠



おもちをついた時のコネコネした感じよくが気持ち良かったのと、おもちも美味しくたくさん食べたくなりました。ビンゴゲームでは景品をもらえて嬉しかったのと、お友だちにいっぱい会えたのが嬉しかったです。また来年も参加したいです。

屏風浦小学校3年 鈴木結人

今年度は4年ぶりに、お餅つき大会を開催することができました。普段なかなか見られない杵と臼に触れて、実際にお餅つきをする事で、子どもたちにとって貴重な体験になりました。また、子ども会ではビンゴゲームを行い、大変盛り上がりました。子どもたちの楽しそうな笑顔がたくさん見られて、私たち子ども会役員も嬉しかったです。

朝早くから準備や運営に携わって下さった、関係者の皆様には深く感謝申し上げます。

中原一丁目 鳴海美穂



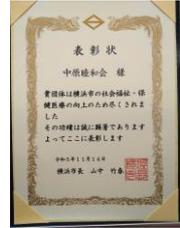
Ⅱ. かがやきクラブ磯子中原睦和会 令和6年1月 行事予定表

定例会とグラウンドゴルフ、ラジオ体操の予定をお知らせします。

項目	場所	日	時
1 定例会	中原自治会館	25日(木)	11:00~12:00
2 グラウンドゴルフ	中原公園	毎週火曜日と金曜日	
3 ラジオ体操	松の内公園	毎朝	6:30~7:00

○ 中原の老人会「睦和会」が表彰されました。

第43回横浜市社会福祉大会が、令和5年11月14日（火）に関内ホールで開催され、「睦和会」が横浜市長から表彰されました。この表彰は永年にわたり地域で福祉保健活動等に携わってきた方々の功績をたたえるものです。



Ⅲ. 中原のこと その22 ～中原の地名の由来～

金子善政

久しぶりのコラムです。今回は1冊の本と中原の地名の由来について書きます。本の名は、森・中原歴史研究会が発行した「横浜・磯子～屏風ヶ浦に生きる～旧久良岐郡森・中原の歴史」です。

この本の発刊については本の趣旨に次のようにあります。平成7年、屏風浦小学校開校40周年に当たり、学校から地域に対して、地域の歴史・民俗の資料を集めて子どもの学びの資料を提供してほしいと要請がありました。そこで、地域の住民有志により歴史資料館を作り、集めた資料により作業体験させることにしました。

平成8年、資料館づくりに参加した方々が集まり、森村・森郷時代の様子を語る会が始まりました。活動の資料をまとめて、平成22年に森・中原歴史研究会から本が発刊されました。

本の内容は原始時代の森・中原から根岸湾の埋め立てまでの歴史、森村・森郷の民族として年中行事・昔話・方言・遊びなどが書かれています。

本の序章に地名の由来がありますので紹介します。まず森についてです。「この辺は山麓に村落をなし、樹木特に繁茂せるを持って起こりし名なり」と「新編武蔵風土記稿」にあるそうです。また、もりを「杜」の字を当てて「神の住む森」の意味を持つという考えもあるようです。さらに、アイヌ語の“moy（モイ）”が起源という説もあるようです。moyには「岬の陰になっているような波静かな海、入江、入海」などの意味があるようです。また、この地域は海と関係が深く、魚介類をとる漁具の銚（モリ）という説もあるようです。

中原については「土地の中央にて平行（へいえん、平らな土地の意）なれば中原と名づける」（風土記稿）とり、杉田村と森村の中央で平らな原を意味しているようです。

屏風ヶ浦の地名は、江戸時代に編纂された「風土記稿」に、広義には「富岡村の出崎より本牧浦の邊まで海岸の様、屏風を立てるがごとくなれば、この唱あり」、狭義では、森公田村の海を「村の東にあり、海濱を屏風ヶ浦と呼ぶ」としている。

○ 屏風ヶ浦と屏風浦

「びょうぶがうら」を表記するとき、「ヶ」を入れるか入れないか迷うときがあります。調べてみると、地名は「ヶ」が入ります。しかし、屏風浦小学校と京急屏風浦駅には「ヶ」が入りません。なぜこうなっているのかわかりませんが、面白い話を小学校で聞きました。鉄道の駅と学校はケガがあつてはいけなから「ヶ」がない。